



あがまち

議会だより



上川地区敬老会

- ・ 9月定例決算報告 2P
- ・ 一般質問案内 6P
- ・ 町民広場 15P

No.42
2015.11

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
発行責任者：議長 猪俣 誠一
メールアドレス：gikai@town.aga.niigata.jp

阿賀町議会第4位入賞 全国市町村交流レガッタ

第24回市町村交流レガッタ津幡大会。議会議員シニアの部で阿賀町議会が4位に入賞しました。来年は、埼玉県戸田ボート場で開催される予定ですので更に上位を目指します。



レースに挑む議員有志

阿賀町議会4位・5位入賞 阿賀野川レガッタ大会

我が町の県営ボート場で行われた第23回阿賀野川レガッタ大会において、議会Aチームが4位に、Bチームが5位に入賞しました。なお、Aチームが最高齢賞（漕手合計年齢282歳）をも受賞しました。

地域と語る会開催予定 (農家組合長と語る)

我が町の地方創生の総合戦略の中でも、我が町の基幹産業である農業問題は重要である。そこで各農家組合との話し合いの場を設けた。

1班

班長 斉藤秀雄
宮川弘毅、石田守家、石川太一
佐久間勇夫、小池隆晴、長谷川良子
斉藤 栄

◎三川地区

平成27年11月26日(木) 午前10時から12時
三川支所2階 旧議場

◎津川地区

平成27年11月27日(金) 午前10時から12時
役場本庁 多目的ホール

2班

班長 伊藤武一
神田八郎 宮澤勝見 五十嵐隆朗
山口周一 清田輝子 入倉政盛

◎上川地区

平成27年11月26日(木) 午前10時から12時
上川会館 3階大会議室

◎鹿瀬地区

平成27年11月27日(金) 午前10時から12時
鹿瀬区民センター

編集後記

秋も深まり、今年も早いもので11月になりました。寒さも一段と身に染みるこの頃です。今年、山里も栗、ドングリブナの実も豊富なようで、熊の出没の話があまり聞かえてきません。恐らく、来春は小熊が多く生まれ、親子づれの熊の話題が沢山聞かれることでしょう。これらの鳥獣の被害には、いま一つ打つ手がないのが実情ですが、英知を結集して何とか共生できるようなことになってほしいので、夢を追い続けたいものです。

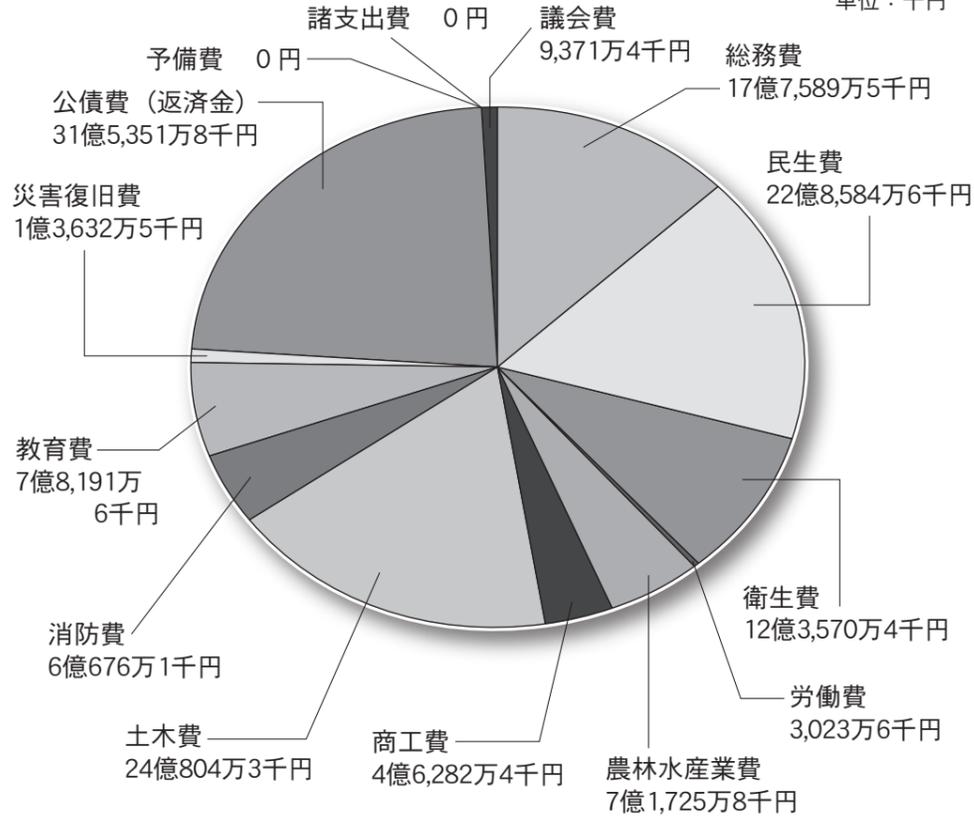
議会だよりもできるだけ全町民に親しみを持っていただけるような紙面になるよう、その理想に向かって編集員一同努力して参ります。
(宮川弘毅)

委員会 晴一郎 一懿 盛栄
常任委員 小池 隆太 八周 弘政
聴取委員 石川 神田 山口 宮川 入倉 藤
広報委員 長石 神田 山口 宮川 入倉 藤
副委員長 員 員 員 員 員

ホームページ
<http://www.town.aga.niigata.jp>

歳出総額136億8,804万円

単位：千円



公債費：借入金や元金・利子などの支払い経費
 総務費：庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などにかかる経費
 民生費：児童、高齢者、心身障害者等の福祉の充実のための経費
 土木費：道路、住宅等の整備や維持管理経費
 衛生費：町民の健康管理やごみ・し尿処理経費

『決算特別委員会審査報告書』

決算審査特別委員会

委員長 小池 隆 晴

審査報告

本委員会は、一般会計他各特別会計の決算審査を9月9日から16日まで6日間かけて、慎重に審査した結果すべて承認しました。

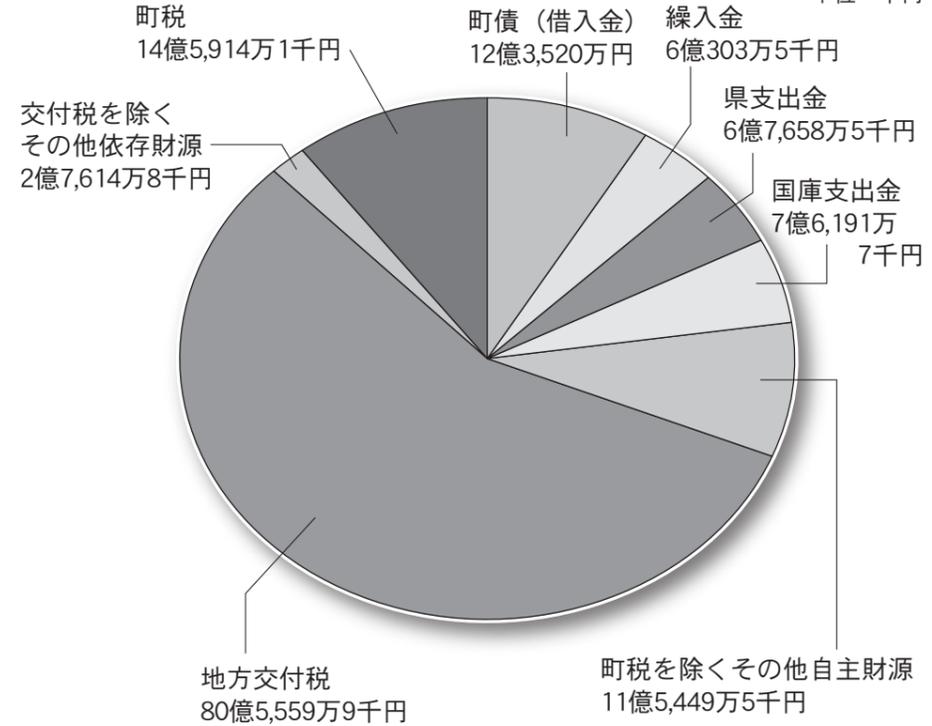
9月定例会議

9月定例会議は9月8日から9月18日までの日程で開かれ、一日目は議会の諸報告、町長の行政報告があり、一般質問には8人の議員が登壇し、15件の多方面にわたって論戦を展開しました。認定1件、報告2件、議案10件、諮問1件などを審議し、原案どおり可決しました。また、請願2件が提出され、うち1件「安全保障関連法」制定の中止を求める請願は不採択となりました。

平成26年度各会計歳入歳出決算9会計について決算審査特別委員会を設置し、集中審査を行い、すべての決算を原案どおり可決しました。

歳入総額142億2,212万円

単位：千円



《町税を除く自主財源》
 ・分担金及び負担金 ・使用料及び手数料 ・財産収入 ・寄附金 ・諸収入(繰越金)
 《交付税を除く依存財源》
 ・地方贈与税 ・利子割交付金 ・配当割交付金 ・地方消費税交付金
 ・株式等の譲渡所得割交付金 ・ゴルフ場利用税交付金 ・自動車取得税交付金
 ・地方特例交付金 ・交通安全対策特別交付金

平成26年度 特別会計

単位：千円

| 特別会計 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引額 |
|--------------|-----------|-----------|--------|
| 国民健康保険特別会計 | 1,772,344 | 1,752,530 | 19,814 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 177,191 | 177,026 | 165 |
| 介護保険特別会計 | 2,221,767 | 2,152,510 | 69,257 |
| 診療所特別会計 | 327,349 | 324,240 | 3,109 |
| 簡易水道事業特別会計 | 1,268,790 | 1,267,506 | 1,284 |
| 下水道事業特別会計 | 956,445 | 955,104 | 1,341 |
| 町営スキー場事業特別会計 | 100,874 | 100,803 | 71 |

| 水道事業会計 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|--------|---------|---------|---------|
| 収益的収支 | 150,205 | 249,640 | △99,435 |
| 資本的収支 | 6,400 | 78,482 | △72,082 |

【平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率の公表について】

*「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により自治体は①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費率、④将来負担比率の4指標の他、⑤資金不足比率を計算し、議会へ報告し、公表することが義務付けられています。

健全化判断比率

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債比率 | 将来負担比率 |
|---------|--------|----------|--------|--------|
| 阿賀町 | — | — | 16.7 | 154.0 |
| 早期健全化基準 | 13.4 | 18.43 | 25.0 | 350.0 |
| 財政再生基準 | 20.00 | 30.00 | 35.0 | |

*実質赤字額、連結実質赤字比率がないため「—(該当なし)」で表示しました。

資金不足比率

| | 資金不足比率 | | |
|---------|--------|------------|-----------|
| | 水道事業会計 | 簡易水道事業特別会計 | 下水道事業特別会計 |
| 阿賀町 | — | — | — |
| 経営健全化基準 | 20.0 | 20.0 | 20.0 |

*資金不足がないため「—(該当なし)」で表示しました。

27年度 一般会計補正予算 5千805万円を追加 総額 131億4526万円に



ルーセントゴルフ場

- 主な補正事業**
- ※総務費
 - ・戸籍管理備品 (マイナンバー導入関連) 353万円
 - ・弁護業務委託料 (ルーセントゴルフ場関連) 200万円
 - ・官学連携町活性化事業 (四季彩館改修工事他) 1,100万円



大学生を呼び込めるか清川高原四季彩館

- ・あがの荘改修工事 2,000万円
- ※商工費
 - ・地域おこし協力隊招致事業 840万円



町内に少なくない急傾斜地 (牧野地区)

- ※農林水産業費
 - ・野村揚水機場整備 250万円
 - ・栗瀬揚水機場整備 100万円
- ※教育費
 - ・学習指導補助員賃金 229万円
- ※土木費
 - ・牧野地区小規模急傾斜地崩壊防止事業 750万円
- ※民生費
 - ・わかば保育園改修工事 350万円

請願の審議

請願第5号
「安全保障関連法制定の中止を求める意見書」の採択に関する請願
紹介議員 入倉政盛
賛成議員 宮川弘懿

「請願趣旨」
今国会で「集団的自衛権行使」を認める一連の法案は日本国憲法が禁じている海外での武力行使につながる戦争に参加することになる。
賛成者 6名
反対者 8名
賛成者少数で不採択。

請願第6号
「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への助成・拡充を求める意見書」の採択に関する請願
紹介議員 石川太一
賛成議員 山口周一

「請願趣旨」
国・県は責任をもって私学助成の増額・拡充を図れ。全会一致で採択された。

1.人口減少に伴う町の在り方は 2.商店街の活性化を

総文社厚常任委員会

委員長 齋藤 秀雄



にぎわう狐の里がえり市

又、地域の歴史を後世に伝える教育をしてはどうか。大学との連携をしながら就労ができる施策を考えてはどうか。
皆さんからは多くの飾りのない意見があり有意義な意見交換をすることができた。

まとめ
「人口減少に伴う地域の在り方」は本年実施予定の「婚活事業」が成果を上げるように町、町議会も支援する。
「就労の場所」づくりは地域コミュニティを図り、コンパクトシティー構想が必要ではないか。
「集落維持」との関係上避けては通れないと認識を共有した。
特に「集落維持」に関しては耕作放棄地を提供するのではなく現在使用可能な適地を考えるべきとの意見があった。
「商店街の活性化」は中心市街地の津川商工会の果たす役割が多である。
中心市街地が活性化しないと、全ての課題に悪影響を及ぼすことは認識を同じくしたところ。

集落維持・就労の場所も町の現状を踏まえ多くの皆さんと検討すべきであると感じ、今後も商工会の皆さんと意見交換を継続することとした。
地域活性化のため議論を深め明日の阿賀町づくりに相互に努めることとした。



元気にいっち、にい〜 (園児運動会)

◇調査日 平成27年7月14日
◇調査地 阿賀町役場
振興会の皆さんと意見交換を実施した。

調査概要

東蒲原郡商工会振興協議会が実施した「人口減少に伴う町地域の在り方は」と「商店街の活性化を」を議題として

人口減少に関する課題として、拠点整備・就労の場所・集落維持・婚活事業等が挙げられた。
「商店街の活性化」は中心市街地が就労の場所になること。

委員会活動レポート



五十嵐隆朗 議員

「公共施設等総合管理計画」 早急に取り組を

**公共施設等の総合的
計画的な管理が必要**

総務省が昨年4月に自治体
に計画書策定の要請を出した。多くの市町村で取
り組みを開始した。町は人
口減少も続き、公共施設の
余剰化や遊休化が、さらに
進展することが予測される。
町は公共施設の全体を把握
し、長期的な視点を持って、
更新・統廃合・長寿命
化などを計画的に行い、町
の財政負担を軽減して平準
化するとともに、公共施設
の最適な配置の実現が必要
ではないか。
将来に負の遺産として残
すな。

**現状分析し計画策定
は実践しているのか**

**費用対効果を算定
して計画策定**

町長 現状分析は行っている。ただし、公共施設全体としての計画は、現時点においてしていないが、それ



廃校になった下条小学校

それぞれの事業において策定時
要件等を取り入れている。
計画対象の範囲は

インフラ施設すべて

町長 学校、町営住宅、集
会場の建物、道路橋梁、上
水道施設など全て対象。

優先度の基準は

町長 施設の老朽化と更新
の優先度の判断基準は。

各台帳が基本資料

町長 固定資産台帳、公有
財産台帳等が判断の基本資
料となるが、台帳が未整理
のため、現在町では資料収
集に着手した。また、判断

につきましましては、課長補佐
クラスで組織する公共施設
再評価委員会でも、優先度
を判断し転用や売却、解体
について検討させている。

**統合・複合・
多目化検討したのか**

町長 基本構想、基本計画
に具体的に検討結果を組み
入れれば、町長の言う不滅
の戦略プランに強力につな
がり第二次阿賀町総合計画
において、実行性の高い成
果が実現されると考えるが。

**中・長期的に
検討してきた**

町長 利用者との調整や協
議もあることから、現利用
者の利便性等を勘案しなが
ら進めている。

計画に民間活力の導入

町長 使われていない公共
施設を住民目線で最大限活
用する指定管理も含め、民
間のノウハウを積極的に導
入するなど、官民の役割分
担の適正化を図り、十分活
用しては。

補助事業でやってき
ているので、その枠を十分
考慮してかかっているが、
適正化を図っていききたい。

管理適正化を図る

スピードと確実性

町長 町を大きく左右する
計画です。目標値を適切に
定め、スピードと確実性を
もって計画を進め、地域再
生のために、産業や雇用を
生み出す戦略的な施設に生
まれ変わらせて頂きたい。

整理対象建物80以上

町長 基本的には類似施設
の整理、統廃合、できる限
り思い切ったメスを入れて
やりたい。その辺は皆さん
からも充分ご理解をいただ
きたいと思っています。



実行化が求められる
第2次阿賀町総合計画



9月定例会議では、8人の議員から15件の一般質問が行われ、町政全般について活
発な議論が行われました。
質問と答弁については7ページから14ページです。

1、五十嵐 隆朗

・「公共施設等総合管理計画」取組について

5、入倉 政盛

・地域から医療・介護・福祉の構築を

2、石川 太一

・その後どうなったのか、町道改良問題

6、斎藤 栄

・町外からの移住施策の状況は
・地域おこし協力隊の定住支援は
・ごっつお条例施行後の具体策は

3、宮川 弘懿

・阿賀町人口ビジョン・地方創世総合戦略策
定に向けて意見集約手続きについて問う
・新教育委員会制度の下、その綱領の策定と
議会との関係について問う
・プレミアム商品券の経済効果を問う

7、清田 輝子

・今後の人口減少をどう止めるかを問う

4、小池 隆晴

・起業支援はあったか（行政の新規事業は）

8、斎藤 秀雄

・町内経済の状況は
・子育て支援策は
・社会資本整備に財政投資を
・阿賀町の教育について

*一般質問＝議員が執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明をもとめ又は疑問を質すことをいう。本町議会の場合「一問一答方式」で質問時間は答弁を含め一人一時間以内となっている。



石川太一 議員

その後どうなった？ 町道の改良

小手茂線の用地問題は

質問 平成25年12月定例会で質問してから2年が経過するが、今だに用地問題が解決しておらず、代替ルートの見通しもつかない。現在の状況と用地確保の見通しはどうか。

用地測量して対応

町長 迂回路は豊川農道を利用して整備計画を進めると答弁したが、27年度に500m用地測量を進めていく。

この計画全体の延長は1500mであるが、了解が得られない所有者の土地が点在しているため、それを避けて縫うように道路を計画している。

実施計画に3年かかり、用地の確認作業が完了して同意が得られないと工事に着手できない。反対者の同意がない現状だが、区や関係者に協力をお願いしながら事業を進めたい。

現工事完了後新規に取り組み

町長 国からの交付金が要望した額に満たず、1年遅れて平成28年度完成をめざしている。相高島・黒谷間のイボ石付近については平成28年度から測量を実施すべく計画をしている。林道と町道のネットワークを考えた道整備交付金事業の採択にむけて取り組みをしている最中である。

小手茂・谷地線の開通は

質問 この路線は法面崩壊や路肩崩落で何年も通行止めであった。先日この区間の法面保護工事を確認した。しかし、関係集落には連絡説明が十分されてなく知らない区長もいた。管轄は津川振興事務所であるが、町の対応にも疑問を感じる。工事は、いつ完了していつから通行できるのか。

28年の雪解け後開通の予定

町長 今年度の降雪前に完成する予定だが、通行については道路状況及び安全施設の確認が必要であり、来年の雪解け後に予定している。集落への説明については、工事発注前に黒谷区、工事発注後に工事車両に係る集落の区長に説明したが、今後事前説明会を実施して周知していく。



小手茂線代替ルート予定地

黒谷線の見通しは

質問 現在黒谷と谷地間の危険な場所の拡幅工事が行なわれている。平成27年度に完成させ新たに平成28年から相高島・黒谷間の拡幅工事を計画すると答弁している。しかし現在の工事は27年度中の完了は不可能と思われる。

工事の見通しと通称イボ石付近の計画について答弁を求める。



道路拡幅中の黒谷線

地方創生戦略は幅広い町民の声を

質問 この事業は大変幅広く、多くの課にまたがっております。職員全員に問題意識の共有が必要かと思えます。

町長 いつも庁議を経てやっています。

質問 計画段階から、この

事業の工程表を発表する必要がありますかと思えます。

町長 それぞれの立場でこれを承知しているものと思えます。

質問 議会との関係ですが戦略の策定、施策の実行、検証等各段階において、十分な議論が必要ではないか。

町長 私もそのように思っております。

新教育委員会制度における議会との関係は

質問 平成27年4月1日から、新教育長制度の設置や総合教育会議が設けられ、町長が教育学的振興に関する総合的な策定することになっております。綱領はいつ頃議会に提出さ

れる予定ですか。

町長 去る7月15日に第1回の阿賀町総合教育会議を開催しました。綱領については、新教育長とさまざまな情報収集し、かつ検証しながら教育委員会定例会において議論作成してゆきます。最終的には総合教育会議に回り、12月定例会議に提出する予定です。

プレミアム商品券の経済効果は

質問 昨年消費税が8%と増税されました。その影響で低迷する個人消費の底上げをねらって、地域消費喚起生活支援型として、政府は2,500億円の補正を組みました。景気の先行きを

私はこの経済効果に疑問を感じます。各自自治体ができる施策であればそれなりの効果を感じますが、これは政府のやる仕事でしょうか。

町長 私は町でやる商品券と同じだと認識しております。



経済効果が発揮されるか

1、地方創生戦略の意見集約 2、新教育委員会制度下における議会との関係 3、プレミアム商品券の経済効果



宮川弘懿 議員



職員全員が共有しているか総合戦略

職員全員が共有しているか総合戦略

職員全員が共有しているか総合戦略

職員全員が共有しているか総合戦略

職員全員が共有しているか総合戦略



小池隆晴 議員

起業支援はあったのか

質問 阿賀町での起業はあったのか。

町長 測量会社など9社あった。

町ではエゴマや雪椿の産地化を進めて、これにかかわる事業としての起業家を支援している。

質問 起業に関しては、農業、林業、町長が言うテレビ電話を使ったIT関係などが考えられますが、具体的な支援対策はどうか。

町長 健全な計画のもとでは金融機関も賛同してくれているし、町の支援もあるけれど、足りなければ実態に合った支援制度を創設しなければならぬと思う。

行政の新規事業はどうか

質問 町の活性化には行政の新規事業に対する取り組みや小さな集落等の活性化の支援が大切と思うがどうか。

町長 行政としても地域と

一緒になって活性化のために支援をしていくということには、これはやぶさかではありません。地域からの提案もあっていいと思ってる。

質問 行政の仕事の考え方について伺います。

行政の仕事は、地域の暮らしを支えることです。自治体の組織は目的ごとに分かれていますが、町民の暮らしはひとつです。どのよう

な事業を展開するにあたっては、このことを忘れてはならないだろうと思えます。町事業の検証等はあったのか。

町長 職員一人一人が事業効果等を念頭に置いて、心ひとつにしてやらなければ、円滑な行政運営はできないと思ってる。

質問 自治体の行政課題が

広がる傾向にあり、エリアを超えた取り組みが求められている。

発想の転換が求められているのではないかと。

町長 職員も職責に応じた研修を受けています。そういう中で自らを律してそれに取り組んでいるものと思ってる。

質問 職員の人事評価について伺う。

事業の成果や課題が実際に確認できるのは事業を始めて一年後、またそれ以降です。職員は人事異動があり、職場が同じでも相当業務が変わります。

実際に事業によってどのような成果を得たのか、評価時点に置いては確認できません。

町の人事評価はどうなっているか。

町長 今、前段の準備等を進めている。

来年の4月から本格実施ということになる。



阿賀町が奨励するエゴマ

町は厚労省の方針に無批判的に追随するな

答 町独自の支援をしていく

質問 介護保険の新しい総合事業の見通しが立たない市町村もある。町は現行相当サービス利用を抑制することがないよう、要支援者の権利とサービスを守る施策を。

町長 市町村事業（新総合事業）への移行は、来年度口ごろまでに具体的な事業内容を定めていく予定です。

基本的には現行サービスを大きく変更するものではなく、選択肢が広がるよう構築していきたい。

国がいつているようなこととでなく、町独自という町ならではのものに構築していきたいと考えている。

子ども医療費の無料化を

答 慎重に判断をしていきたい

質問 子ども医療費助成事業で、県の方針では2016年度から交付金化し、子育て支援事業にも使えるようにしている。

来年度から実施される総合事業計画のなかに子育て支援事業として医療費の無料化に踏み出すべきではないか。

町長 交付金の額や対象事業など県の通知を待って、今後の取組みを検討していきたい。

無料化については、新たな交付金の額にもよりますが、大きな財政負担にもなるので慎重な判断をしていきたい。子ども・子育て環境については、より一層充実するよう取り組んでいく。

問 地域から医療・介護・福祉の充実を

答 利用者が不安にならないよう手だてを考えていく

質問 県の地域医療構想策定に向けた現在の到達点と町の対応は

町長 現在は資料収集、内部検討の段階であり、構想策定部会を立ち上げて、28年度中に県の地域医療構想の策定を目ざしている状況です。

県は医療圏域ごとに調整会議を設けて、市町村の意見も聞くということで、町の意見は十分に具申してまいる。

また県とも連携しながら県立病院の建て替えも控えておられますし、これを見守っていき、存続を訴えていくことを考えている。町民が安心して必要な医療を受けられる体制が継続されるように皆さんと一緒に頑張らさかけ、危機感をもって臨んでいきたい。



入倉政盛 議員



地域包括支援センター（鹿瀬支所2階）



津川病院の充実を



齋藤 栄 議員

町の人口増対策は

移住施策は

質問 わが町の人口推移は25年後は半減の推計（国立社会保障・人口問題研究所）が出ている。町が目標とする一万人維持は本当にできるか。

町長 何もしなければ、そのような推計になると認識している。過去に、国が行った調査が現実には、その通りにならなかった。一万人を割らない人口を維持する手だてを後々までも、続けられるよう取り組みなければならぬ。

質問 ホームページは、移住関係情報の掲載は消極的だ。町に住みたいと思わせる情報掲載を強化してはどうか。

町長 ホームページばかりでなく、いろいろな媒体、多くの人的交流を通じて、あるいは機関を通じて取り組んで行く。きちっとしたもので広報していきたい。

地域おこし協力隊支援は

質問 地域おこし協力隊の業務遂行に当たっては、町としてサポート体制を充実させている。地域の住人、関係団体との交流支援、また情報共有を怠らず、隊員を孤立感に陥らせないように配慮が大切と思うが。

町長 地域おこし協力隊として思いが通じるように、十分その意向を伺いながら取り組みをしてもらうという認識している。

質問 地域おこし協力隊員は、活動終了後は町に定住してくださる有力候補です。国の発表では、地元に残って定住した方は、6割ということですが、定住者に町は定住支援策をどのように考えているか。

町長 任期終了後も住み続けて、起業及



協力隊と地域住民との共同作業

ごつつお条例は

質問 3月定例会議で、町が提案し可決した条例だが制定後は目に見えた政策実行がないがどうなっているか。

町長 関係各課と調整を進めている。具体的には、条例の運用規定を制定し、特産物や特産品を「ごつつお」として認定し、町のホームページで無料PR等の検討している。また、食育教育等を活用し、郷土料理の伝承・継承を行う。そしてそれらに認証マークを交付しブランド化を目指す。

質問 事業を進めるには、町だけでなく関係団体及び組合にも協力を得ることが必要だ。

町長 いろんな団体等が委員会を立ち上げて取り組んでいる段階だ。我が町はこうだということもを全国に発信して行き、形骸化しないよう努力していきたい。

高校に醸造科は

質問 当町には酒蔵があります。町の産業です。高校もあります。県の高校です。町にあるので提言します。普通科ですが、発酵科、醸造科等があつていいのではないかと思ひ、伺います。

町長 町で産出される米の相当分を使う位です。酒米研究会も人数が多くなり、若者の参加も多いです。又高校は昔農業科もあつた訳です。やっぱり普通科で上の学校に行く、大学に行くという全体の流れで普通科になつた訳です。

町営住宅は

質問 償還金の終わった町営住宅を激安で売却することはいできないのでしょうか。激安で売却した方が、住民も減らない、又、町の負担もなくなるので伺います。

町長 公共施設の統廃合なり、整理なりと言われています。これからは、そういう時代ではないかと思ひますので、前向きに整理をしようにできるのか、担当部署に指示し具体化を考へていきます。

地方創生目的の人口減対策は



清田輝子 議員

質問 自然減は別として、今後町は、人口減少を少しでも緩やかに止める対策があるのか伺います。

町長 今のところ社会人口減少問題は大変むずかしいことでもあります。この問題は、町だけの問題でなく全国的なものです。2011年〜2013年の3ヶ年間で平均で292人が転出し、194人が転入で年間平均で100人前後が減っています。

大台を割らないような対策に努めていかなければならないというのが根底にあります。町の生活実態を、いろいろな発信で行っています。今若者が農林業に非常に魅力を持っていくことが全国的に広がっています。



人通りがない町並み

醸造科のあつた吉川高校も醸造科が廃止された訳です。これから先、高校の在続の問題もあります。本場にそういうことで戻せるものか。農業研修などで外から呼び、永住してもらうことに取り組めるものについては取り組んでいきます。

町民の広場

ひろば

私もひと言



子供たちから元気とパワーをもらって…
加藤美佐さん（あが野ニュータウン）

すがすがしい秋晴れのもと運動会の歓声が聞こえる季節になりました。
先日、私も娘の運動会に参加してきました。当日はあいにくの雨模様で、園庭から中学校体育館へと場所の変更がありました。先生方もさぞかし準備に大変だったことだと思いますが、とても素敵な運動会でした。

79人の子供達、それぞれが一生懸命に取り組む姿に、この親御さんも感じるものがあつたことと思います。可愛らしい子供達から元気とパワーを貰った一日でした。
私の住んでいる近くに御前ヶ鼻公園があります。自転車に乗ったり、木道をかけっこしたりして遊んでいるのですが、遊具はありません。
「ブランコがあつたらもっと楽しいのになあ…」という小さな子供の声が届きますかね…。
疲れて一休みした自転車にトンボが止まって…。
そして、またすべに遊びの再開です。



御前ヶ鼻公園でのわが娘



阿賀町に来て
目黒貴博さん（鹿瀬）

阿賀町の地域おこし協力隊に採用され、素人ながら農業に携わるようになり、はや半年が過ぎました。
地域の農家さんに、教えを請いながら、先日、「エゴマ」の刈り取りを終え、つかの間の安堵に浸っております。
阿賀町に来るまで、エゴマの工の字も知りませんでした。それでもエゴマを知れば知るほど、エゴマの魅力に惹かれていた自分がいきました。

エゴマを知らなかった私が、一から栽培を始めようと言つたのですから正直、大変です。
そんなとき、農家さんや地域の方々からアドバイスをいただく事がとてもありがたい。
貴重な経験談を拝聴させていただく度に、自然の厳しさやみりの喜びを疑似体験させてもらい、そのたびに、自分の知識がひろがる。そんな経験をさせていただき、楽しくもあり、厳しくもある毎日を



過ごしております。
阿賀町に来て、自分自身がどこまで成長出来、地域おこし協力隊として、どこまで貢献できるかは、未知数ではありますが、自分ができる範囲で、交流を深め、何事にも挑戦して行こうという気持ちと日々勉強の心構えの両輪で前進しようとおもっています。

・町経済の現状は ・子育て支援充実を ・社会資本投資を ・IT利用で教育充実



齋藤秀雄 議員



子育て支援の充実を…

町経済の現状は

質問 町経済の現状は厳しいと思うが、積極的公共投資で活性化すべきと考えます。町長の認識と活性化施策を伺います。

厳しい現状では

町長 三セクの決算から厳しい状況と推察できます。町では地方創生先行型交付金活用でと考えています。財政状況を見ながら効果的な施策を実施したい。

子育て支援の充実を

質問 子育て支援は先進地でありますが、少子化対策から子供を産み、育てやすい環境整備をより具体的にすべきです。少子化で学校の部活動存続が危惧されます。町の戦略を伺います。

切れ目のない支援で

町長 未婚・晩婚化の状況であります。他の自治体では出産祝金で多額を消費しています。町は総合的に切れ目のない支援をしたい。部活動に関しては教育委員会に対処検討する。

社会資本整備で活力を

質問 麒麟橋下流域の水害対策はどうなっているのか。角島から大牧間の水害対策・赤岩橋架替え等は検討されているのか伺う。

又、町内道路舗装の損傷が激しいが対策はないのか。

河川整備計画待ち

町長 阿賀野川河川整備計画の早期策定を強く要望する。大牧・角島間や赤岩橋についても国・県に要望していく。道路舗装は計画的に推進していく。

TV電話の利用を

質問 IT利用で家庭学習強化は考えられないのか。教職員の勤務体制整備に教育委員会として加配の考慮あるのか。TV電話更新検討はされているのか。

積極的に支援を

町長 充実したIT教育環境で教育しているがTV電話での家庭学習は難しい。更新時に検討する。教員加配は積極的にしている。

IT利用は難しい

教育長 IT環境は家庭学習推進には難しい。学校では大いに利用している。



きりん橋下流域の水害対策は